（地域）

令和７年度　地域発 元気づくり支援金事業総括書

事業名	テンリュウ堂 × ローカル DAO 地域共創プロジェクト
事業主体 （連絡先）	天龍峡デジタル住民部 09079089536
事業区分	公共的・公益的団体等が自ら取り組む地域づくり事業
事業タイプ	ソフト・ハード
総事業費	5,140,700 円（うち支援金：4,014,000 円）

事 業 内 容

天龍峡エリアにおいて、デジタル技術（DAO：分散型自律組織）を活用した「デジタル住民」という新しい関係人口の形を構築するため、以下の事業を実施した。

・プラットフォーム整備: 天龍峡の魅力を発信し、デジタル住民が交流するための Web サイトを制作した。

・地域共創ワークショップ: 地域住民と専門家を交えたワークショップを全 3 回開催し、具体的な空き家活用策や観光コンテンツの検討を行った。

・デジタルサイネージの設置: テンリュウ堂店頭に設置し、来訪者へ DAO の取り組みや地域のタイムリーな情報を発信する体制を整えた。

プロモーション・アドバイザリー: 外部専門家の知見を導入し、SNS や広報物を通じた戦略的な情報発信とコミュニティ運営のアドバイスを受けた。



【ワークショップの様子】

【目標・ねらい】

①デジタル技術で新しい関係人口の構築
②地域住民とデジタル住民による共創プラットフォームの整備
③地域資源を活用した持続可能な地域活性化

事 業 効 果

・関係人口の基盤構築：Web サイトと DAO により、全国から関心層を惹きつけるデジタル住民の受け皿を確立した 。

・地域活性化案の具体化：全 3 回のワークショップを通じ、外部視点による空き家活用や観光施策の実行案を策定した 。

・情報発信の強化：デジタルサイネージの導入により、来訪者へのタイムリーな情報伝達と地域内の回遊性を向上させた 。

・共創モデルの確立：地元住民とデジタル住民が連携して地域課題に取り組む、新しい共創の形を具現化した。

※自己評価【B】

【理由】
Web、DAO、サイネージ等の基盤整備は計画通り完了した。共創の仕組みは整ったが、デジタル住民の自律的な活動定着は継続課題であるため。

今後の取り組み

※今後、事業効果をどうつなげていくか記載すること。（今後の事業展開、取組の継続に向けた財源確保など）。

・コミュニティの自律化と定着

本事業で構築した DAO（分散型自律組織）の仕組みを活用し、デジタル住民が主体的に地域に関わるための「自走できる運営体制」の確立を目指す。

・共創プロジェクトの事業化

ワークショップで策定した「空き家活用」や「特産品ツアー」等の企画を順次実行に移し、地域への直接的な経済効果や関係人口の質の向上に繋げていく。

※ 自己評価欄は、地域活性化に及ぼす事業効果について、以下から選択のこと。
「A」：予定を上回る効果が得られた　「B」：予定していた効果が得られた
「C」：一定の事業効果はあったが事業実施方法や今後の活用等について、工夫や改善を要する点がある